

VOL.28

## アスペルガー症候群について調べよう

2014.12 作成

### ○アスペルガー症候群とは…？

知的発達の遅れを伴わず、かつ、自閉症の特徴のうち言葉の発達の遅れを伴わないものである。

なお、高機能自閉症やアスペルガー症候群は、<sup>こうはんせい</sup>広汎性発達障害に分類されるものである。

(文部科学省 HP より)

### ○概要を調べる \* 網掛けは児童コーナーの資料

・R378『障害児教育大事典』 茂木俊彦／旬報社【1997】【館内】

→9 頁「アスペルガー症候群」の項にあり。歴史、定義、治療教育の項目でわかり易く書かれている。同頁に由来となった小児科医「アスペルガー」の項もあり、合わせて参照できる。

・R493.9『自閉症百科事典』 ジョン T. ネイスワース・パメラ S. ウルフ／

明石書店【2010】【館内】

→11 頁「アスペルガー症候群 (AS)」の項にあり。特徴、性質、アスペルガー症候群と自閉症の分類についての議論が分かり易く述べられている。参照項目も示してくれている。

・R378『発達障害指導事典 第二版』 小出進／学習研究社【2000】【館内】

→264～266 頁の「自閉症」の項に記述あり。次の項が「自閉症の指導原理」となっているので合わせて参照するといいい。639 頁に小児科医「アスペルガー」の項もあり。

・25-7『新しい発達と障害を考える本 2 もっと知りたい!アスペルガー症候群のおともだち』

内山登紀夫・伊藤久美／ミネルヴァ書房【2013】

・25-7『新しい発達と障害を考える本 6 なにがちがうの?アスペルガー症候群の子の見え方・感じ方』

内山登紀夫・オザキミオ／ミネルヴァ書房【2014】

→アスペルガー症候群の子の日常の行動から障害を理解していく本。大きい絵で解説には振り仮名が振られているので児童でも理解できる。解説は易しい言葉で分かりやすい。大人にもおすすめの本。

### ○詳しく調べる

#### ▶関連キーワード

- |                    |              |            |
|--------------------|--------------|------------|
| ・(広汎性) 発達障害        | ・(高機能) 自閉症   | ・学習障害 (LD) |
| ・注意欠陥／多動性障害 (ADHD) | ・精神遅滞 (知的障害) | ・情緒障害      |
| ・特別支援教育            | ・通級          | ・コミュニケーション |
| ・脳機能               | ・自閉症スペクトラム   |            |

## ▶日本十進分類法（一般書）で探す

- 【 378. 6 障害児教育 】 【 493. 76 心因精神病／機能的精神病 】  
【 493. 9 自閉症 】

## ▶児童・YAコーナーで探す

- 【 25-7 社会福祉／ハンディキャップ 】 【 Y10 生き方 】

## ▶例えばこんな資料 \*網掛けは児童コーナーの資料

### 入門

- ・子育て 378.6 『発達障害の子どもの心がわかる本』 主婦の友社 【2010】  
→発達障害について種類や原因、症状、判断基準など子を持つ親向けに書かれた本だが、発達障害について知りたい人にもわかりやすい一冊。自閉症、ADHD、アスペルガー症候群の子との上手なつきあい方を詳しく取り上げている。
- ・子育て 493.9 『もしかして、うちの子、発達障害かも！？』 岡田俊／PHP 研究所 【2009】  
→Q&A 形式で発達障害についての素朴な疑問に著者が回答しているもの。基本的なことから、親の立場からの具体的な質問まで、丁寧かつわかりやすい回答・解説をしている。
- ・378.6 『ADHD・LD・アスペルガー症候群かな？と思ったら…』 安原昭博／明石書店 【2007】  
→我が子が発達障害かもしれないと思った親への手引き書のようなもの。医療機関、行政、学校などから得られる支援について説明されている。ADHD・LD・アスペルガー症候群のチェックリストや支援センター一覧、当事者団体・親の会一覧も掲載。

### 中級・上級

- ・493.9 『アスペルガー症候群と高機能自閉症の理解とサポート』 杉山登志郎／学習研究社 【2002】  
→医師や教師など実際に障害の子と関わった15名が自らの体験から解説、指導、対応についてまとめている。また、高機能<sup>こうはんせい</sup>広汎性発達障害の2人による手記を掲載。
- ・378.6 『「気がかりな子」の理解と援助—LD・ADHD・自閉・アスペルガー症候群—』 金子書房 【2004】  
→専門家たちによるそれぞれの発達障害についての解説。文字が小さく、内容は少々難しい。巻末に「子どもの障害の相談窓口」一覧が付いている。
- ・378.6 『アスペルガー症候群のある子どものための新キャリア教育』 本田秀夫・日戸由刈／金子書房 【2013】  
→アスペルガー症候群のある子どもの家族や支援者に向けたガイドブック。子どもが将来社会に出ていくための準備を学齢期の段階から進めていけるよう、家庭・学校・地域でできることや、家族の心がまえなどを具体的に説明している。
- ・493.9 『みんなで学ぶアスペルガー症候群と高機能自閉症』 サリー・オゾノフほか著／田中康雄・佐藤美奈子訳／星和書店 【2004】  
→パート1「アスペルガー症候群と高機能自閉症を理解する」では、診断方法や、原因、治療法について解説。パート2「アスペルガー症候群、高機能自閉症とうまく付き合っていく」では、家庭や学校、社会での対応について述べられている。

## 就労

- ・493.76『アスペルガー症候群就労 支援編』 佐々木正美／講談社 【2009】

→アスペルガー症候群の人のための就労手引き書。就職活動から就職後までのアドバイスや実例が豊富に掲載。実際に働いている人の声や向く仕事、向かない仕事、受けられる支援、機関の紹介など。

## 当事者が書いた本

- ・25-7『アスペルガーの心 1・2』 フワリ作・絵／偕成社 【2012】

→小学校3年生のときに「アスペルガー症候群である」と本人告知を受けた著者が、小学校4年生の時、小学校5～6年生の時にそれぞれ描いた絵本。

- ・493.9『あなた自身のいのちを生きて』 グニラ・ガーランド著／中川弥生訳／かもがわ出版 【2003】

→機能自閉症と診断された著者が、同じく自閉症やアスペルガー症候群の子どもたち、青年たちに向けて綴った愛情あふれるメッセージ。障害をもちながら、「ありのままの自分」に誇りが持てるようになる本。

- ・493.7『アスペルガー的人生』 リアン・ホリデー・ウィリー著／ニキリンコ訳／東京書籍 【2002】

→娘の診断がきっかけとなり、自身もアスペルガー症候群であると気づいた著者の半生を綴った自伝。この世界がアスペルガー症候群の人の目にどのように見えているのか理解できる本。

- ・493.9『私と娘、家族の中のアスペルガー』 リアン・ホリデー・ウィリー著／ニキリンコ訳／

明石書店 【2007】

→前著『アスペルガー的人生』の著者が結婚や子育ての経験を通してつかんだ、自分を見失わずに現実と向き合うヒントの数々を紹介。

## 家族が書いた本

- ・Y10『ねえ、ぼくのアスペルガー症候群の話、聞いてくれる？』 ジュード・ウェルトン作／長倉いのり・門眞一郎訳／明石書店 【2006】

→アスペルガー症候群の子を持つ現役の母親である著者が、アスペルガー症候群の特徴や困っていることなどを紹介。アスペルガー症候群の小さな子どもが、自分の言葉で自分自身のことを人に語る形式で書かれている。

- ・936 叱『眼を見なさい！』 ジョン・エルダー・ロビソン著／テラー幸恵訳／東京書籍 【2009】

→40歳になって自身がアスペルガー症候群とわかった著者が人生の軌跡をたどった自伝。診断を受けていない「放し飼い」のアスペルガー者の日々と、診断を受けて自分の才能と特異性に誇りを持つようになった10年間の出来事が綴られている。

- ・936 叱『変わり者でいこう』 ジョン・エルダー・ロビソン著／藤井良江訳／東京書籍 【2012】

→前著『眼を見なさい！』の著者の2作目。アスペルガー者に対して、自分の特異性を生かしながら人生を送れるよう、著者自身の経験を踏まえて考察・アドバイスして勇気付ける内容。

- ・378.6『自閉症スペクトラムの子を育てる家族への理解』 原佐知子・梅永雄二／金子書房 【2014】

→親や兄弟の生の声を7ケース紹介。また、家族らによる座談会の様子も3ケース掲載。家族たちの語り・手記から、本人だけでなく家族全体も視野に入れた支援のあり方を考えることのできるテキスト。巻末には家族へのアンケートデータも収録。

## ○図書以外の資料

### ◎インターネット情報

- ・国立障害者リハビリテーションセンター 「発達障害情報・支援センター」

(<http://www.rehab.go.jp/ddis/>) [最終確認日 : 2014.12.16]

→発達障害の人の生活や就労に関する相談の「総合窓口」。サイト内には、全国の支援センター一覧もあり。

- ・独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所「発達障害情報センター」(<http://icedd.nise.go.jp/>)

[最終確認日 : 2014.12.16]

→発達障害の子どもの教育に関する総合サイト。全国の相談窓口一覧や各関係団体発行の支援ガイドブック、発達障害関連の図書リスト、イベント情報などさまざまな情報が得られる。

## ○関連施設・団体

- ・国立障害者リハビリテーションセンター

〒359-8555 埼玉県所沢市並木4丁目1番地 TEL 04-2995-3100(代) FAX 04-2995-3102(代)

→障害のある人々の自立および社会参加を支援するため、総合的な医療・福祉サービスの提供、新しいリハビリテーション技術や福祉機器の研究開発、リハビリテーション専門職の人材育成、障害に関する国際協力等を実施する厚生労働省社会・援護局に属する機関。

## ○プラス・ワン！

### 小説

- ・Fヤ『晴れときどきアスペルガー』 今村志／講談社 [2009]

→「アスペルガー症候群」の子どもと向き合った母と家族の実体験をもとにしたフィクションの物語。

### マンガ

- ・子育て599『プロチチ』 逢坂みえこ／講談社

→生真面目でこだわりだしたら止まらなく、対人関係でトラブルが多いアスペルガー症候群の専業主婦を題材に描かれている漫画。

### アスペルガー症候群の有名人

- ・493.76『天才の秘密』 M.フィッツジェラルド著／井上敏明監訳／倉光弘己ほか訳／

世界思想社 [2009]

→モーツァルトもベートーヴェンもゴッホもアスペルガー症候群だったと知っていますか？  
歴史的な天才といわれた作家や画家ら17人をひとりひとり紹介した本。